

博士人材のスキル可視化・ 企業とのマッチング推進に向けて

研究エンパワープラットフォーム

LabBase

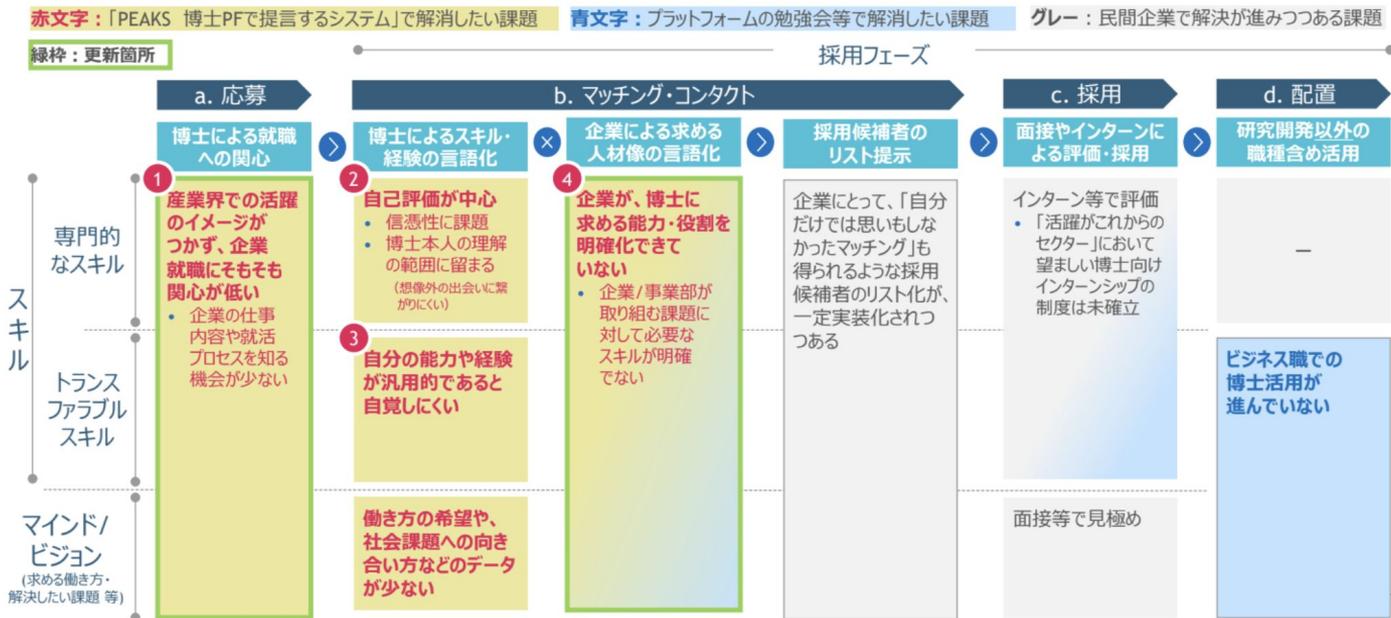
- 2004年 薬学部修士卒
- 2004年 住友ファーマ 入社
(研究職)
- 2015年 同社 人事部
(理系職種の採用担当)
- 2021年 立命館大学
(院生のキャリア支援)
- 2023年 住友ファーマ
(研究部門 人事担当)
- 2024年 LabBase
(博士学生のキャリア支援)

- ・企業 研究職 11年
- ・企業 博士学生採用担当 6年
- ・博士学生キャリア支援 2年の経験があります！



前回サブ会合の振り返り

- 産学官から67名が参加し、高い満足度
- 以下のような博士人材活用における重要な課題が整理された



→①と④が新たに重要課題として指摘され、「ロールモデルの可視化」と「企業ニーズの明確化」の重要性が確認された

包括的な課題解決

①～④の課題を個別課題としてではなく、相互の関連性を考慮した統合的なアプローチでの解決を目指す

実績に基づく支援が可能

特に①④の課題領域で既に支援実績があり、実施済みの手法を活用する

具体的取り組み紹介

理論だけでなく、実際の取り組み事例と成果を具体的にご紹介

目指すソリューション

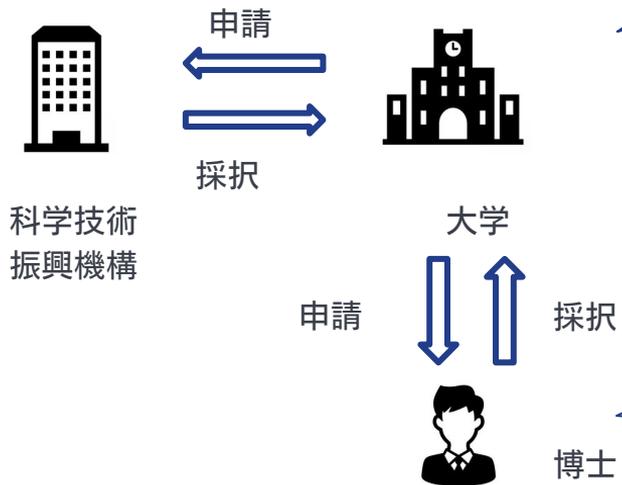
1on1面談 x AIインタビュー — 一気通貫で①～④の解決を目指します



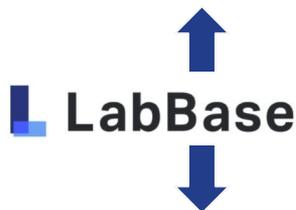
LabBaseの博士支援 大学と連携しての博士キャリア支援

SPRING

次世代研究者挑戦的研究プログラム



博士に対するキャリア支援はやったことがない。
キャリアセンターや学生課の学内リソースも余裕がない。



セミナーや1on1面談等を通じて、
各大学の博士学生に対して、
オーダーメイドな支援

研究室に同期はいない。博士も数名。研究室以外に繋がり
もない。専門性や博士のことをよく分かっている、頼れる
人がほしい。

LabBaseの博士支援 大学と連携しての博士キャリア支援

全ての博士学生に先輩を

～1on1面談を軸に、オーダーメイドで博士を支援～

多様なニーズに応えるメンター陣

- 文系・理系問わず、多様な専門性
- アカデミア・民間企業の様々なバックグラウンド
- 英語での面談も実施可能
- 博士卒のメンターも多数在籍

面談をした学生の約9割が

「また同じメンターに相談したい」と回答！



キャリアメンターとの1on1

アカデミア、企業それぞれで実績を持つ博士課程を活かしキャリアを築いてきたメンターに1対1で相談ができる

メンターの紹介



板倉 朋宏

博士卒 薬剤師 キャリアコンサルタント
データサイエンティスト (リテラシーレベル)
英語対応可

〈略歴〉

・徳島大学薬学研究科修士
・住友ファーマ株式会社 研究職
・住友ファーマ株式会社 採用担当 (研究職、開発職、データサイエンティスト職などの理系博士および修士) ...

詳細を見る



李 円楯

博士卒 情報系 キャリアコンサルタント

〈略歴〉

・早稲田大学大学院理工学研究科物理学及応用物理学専攻修士課程修了
・博士 (理学) 早稲田大学、経営学修士 (専門職)、スーパーテクノロジーオフィサー(STO)

詳細を見る

1on1面談は、博士学生から高い評価を受けています

実績と成果

135+

面談実施人数

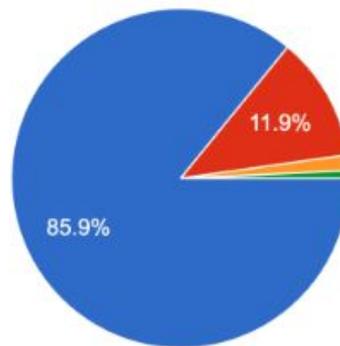
(文系博士も含む多様な分野で実施)

98%

「満足」と回答した博士学生

77.4%

「キャリアプランに役立った」
との回答率



- 5: とても満足
- 4: やや満足
- 3: どちらとも言えない
- 2: やや不満足
- 1: とても不満足

→博士ロールモデルとの1on1面談により、

①産業界での活躍イメージ不足の解消、③自身の汎用スキル自覚の促進 が可能

EUREKA(当社AIインタビューシステム) - 動作イメージ



インタビュー終了

Interviewer
こんにちは。

Interviewer
本日はお忙しい中インタビューにご参加いただきありがとうございます。

AI InterviewはオンラインMTGと同じように、音声の会話で行われます。

カスタマイズされた質問

質問はご利用企業様ごとに、カスタマイズしご提供します。専門性の深掘り、ESの代わりににも対応できます。

1次面接、技術面接使い方はさまざま

AIは候補者の技術面の深掘り、専門性の詳細を探ることが得意です。通常技術者でなければ聞けないことを実現します。

※ 画像は開発中のものです

AIインタビューシステムで実現できる未来

④企業ニーズの明確化（構造化）

②博士スキルの客観的可視化

に活用→博士人材と企業の双方が納得できる、データに基づいたマッチング

1 企業ニーズの構造化

各企業が博士人材に求める具体的な能力・役割を詳細に分析し、評価可能な指標として体系化

4 高精度マッチング

構造化されたパラメータを突合することで、従来の感覚的なマッチングを超えた精度を実現



2 博士スキルの客観化

研究活動を通じて培われたスキルを企業目線で評価し、汎用性の高い能力として再定義

3 共通フレームでの整理

企業ニーズと博士スキルを同一の評価軸・指標で整理し、客観的な比較分析を可能に

個社での成功事例を基盤として、業界横断的な標準化を推進。



評価基準の体系化

各企業・業界の評価基準を収集・分析し、
博士人材評価の標準フレームワークを構築



業界横断的な標準化

(トランスファラブルスキルに着目)

業界を超えた共通評価指標の確立により、
博士人材のマッチングを円滑化



プラットフォーム化

産学官連携による博士人材活用の
統合プラットフォームとして機能を拡充

まとめ①；包括的ソリューションによる価値創造

- 包括的課題解決

- ①産業界での活躍イメージ不足、②スキルの客観評価、
③汎用スキルの自覚促進、④企業ニーズの明確化
- 全ての課題に対する統合的なアプローチを、
1on1面談×AIインタビュー
で提供します。

- 「気づき」の創出による価値共創

- 博士人材には「自身の可能性への気づき」を、
企業には「博士人材の真の価値への気づき」を提供し続けます。
この相互の気づきこそが、
日本のイノベーション創出を加速させる原動力となると確信しております。

→産学官の皆様との継続的な協働により、博士人材が活躍できる社会の実現を目指します。

まとめ②；民間事業者（弊社）で実現できること・困難なこと

	・実現できること	・実現困難なこと (ご協力が必要なこと)
1on1面談	<ul style="list-style-type: none">・プロダクト完成済み・博士学生のニーズを捉えていること・個々の大学様への導入とデータ蓄積	<ul style="list-style-type: none">・全国の博士学生に等しく1on1面談の機会を提供すること<ul style="list-style-type: none">—PEAKS連携大学への一括提供とデータ蓄積—無償化
AIインタビュー	<ul style="list-style-type: none">・プロダクトの初期開発・個々の企業様の採用課題の解決	<ul style="list-style-type: none">・個社ごとの成功事例を早急に積み上げ、業界横断的な標準化を推進すること<ul style="list-style-type: none">—企業;(PEAKS内で)希望企業様を募り、AIインタビューで「自社が望む博士像」を作成—博士学生;(PEAKS内で)AIインタビューを受験必須化するシステムとデータ蓄積

**産官学、手を取り合いながら、
博士の可能性が最大限発揮される社会を
共につくっていきたい。**

そして、安心して研究の道を志せるようにしたい。